



柏原区公民館長

堀之内 睦

区民の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。また、日頃より区の運営にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。

今年も新型コロナウイルスの感染者が減少する気配がない中、新年度の役員総会も書面表決とさせていただきます。本来ならば役員の皆様にご審議していただかなければならないところですが、感染拡大防止の為、やむなく書面表決とさせていただきます。改めてお詫び申し上げます。

町においても行事の中止が相次いでおります。二年連続で中止となれば行事そのものが忘れられ地域全体の活力がなくなりそうな気がします。そんな中、柏原区は、ウォーキングとグランドゴルフは実施し、ふれあいとコミュニケーションの場を作ろうと考えております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

さて、昨年の水害で被害を受けた河川の堤防は現在復旧工事が進んでいます。堤防は水害から地域住民の生命、財産を守る重要な役割を持っています。一日も早く復旧し安心して暮らせるように望みます。

一方、耕地の復旧はまだ手付かずの状態です。来年には作付けで

■発行責任者
柏原区公民館長
堀之内 睦
■編集責任者
総務部長
王子野 建男

「柏原小学校」 大規模改修一時移転



改修中の柏原小学校

柏原小学校は、昭和53年に改築され、43年が経過しており、平成9年の地震後に簡易的な補修をしたのみで、外壁の爆裂やモルタルの浮きもみられることから、学校施設の健全な維持、長寿命化を図る為、大規模改修を行っているところであります。これに伴い工事期間中の授業については、3月末に閉校した流水小学校の活用が始まっています。柏原小学校での授業は工事の進捗状況に合わせ、12月から1月にかけて引越し作業を行い、3学期からの授業、卒業式が予定されています。



流水小学校への引越し作業

7月27日流水小学校への引越しは、強雨にもかかわらず保護者や関係者が参加し、軽トラックなどを利用し、机や椅子を運びだしました。前日には児童たちの手で体育館に持ち出すものを運び、整理区分けし、当日運び易いよう準備しました。



大願寺六文字からバスに乗車する児童たち

子供たちの流水小学校への通学支援は現在運航しているスクールバス（柵野・紫尾線）で、他の児童は町バスによる2回のピストン運航により、ほたる館等から流水小へ送迎されています。3学期になって、きれいに改修された小学校へ登校する児童たちに、学校版ビフォーアフターの期待が寄せられます。

柏原区会計

宮之下 正子



この度、令和4年度柏原区会計を務めさせていただきました京塚原の宮之下です。

この数年、区の活動に対して協力、参加できていなかったところこの話をいただき、長年

お世話になつて柏原区のために、多少なりとも貢献できたと思ってお受けいたしました。不慣れな事も多く、何かと至らない事も多いかもしれませんが、柏原区のさらなる発展のため、館長を補佐する立場として精一杯努めて参りたいと思います。区役員はじめ、皆様からのご指導、ご教示頂けたら幸いです。まだまだ未熟者ではございますが、どうぞよろしく申し上げます。

公民会紹介 上川口公民会



上川口公民会長
豊田 光男 さん

上川口公民会は、柏原区の北部にあって、地区内では、(株)ジグヤ精工や比知屋産業（株）が精密機械部品やセラミックス部品の加工・製造等されているほか、宮之城温泉に隣接することから、比較的交通量の多い地域となっております。

一方、過疎化の進行等により、本年は51戸、人口143人と戸数・人口減が顕著に表れています。

こうした中においても、地域の美化活動や共同作業等を実施し、相互の親睦と融和を図るための活動を展開しているところです。

今後高齢化、人口減は進むと思われることから、こうした周辺部に寄り添った細やかな町の対策・施策が望まれます。



定期的に道路の美化活動を行っています



暑い中作業を行う関係者

区公民館環境整備作業

6月26日7時より、区集会施設「ほたる館」周辺の環境整備を行いました。

これは、柏原区環境部の年間行事計画に基づき実施されたもので、区公民館長はじめ区協議員、各公民会長に加え、役場地域担当職員等約20名が刈り払い機等を持ち寄り、暑い中作業を行い、片付けまでけがもなく、きれいに清掃できました。



操法を披露する柏原分団

柏原分団消防操法大会出場

7月31日薩摩川内市の川内川河川敷で、薩摩支部消防操法大会が開催され、柏原分団がポンプ車の部に出場しました。ポンプ車の部には、さつま町から4分団、薩摩川内市から3分団が出場しました。柏原分団は、日頃の練習の成果を発揮し健闘しました。

今後も柏原区の安心・安全を守るため、活躍を期待します。

令和3年度決算並びに令和4年度予算

○収入の部 (単位：円)

項 目	決算額(R3)	予算額(R4)	説 明
区 費	2,123,000	2,160,000	世帯当たり 500 円×12月
前年度繰越金	1,230,603	996,935	前年度より
公民館補助金	656,940	650,000	町より公民館運営補助金
財 産 収 入	0	10,000	区有林山砂利販売代等
そ の 他 収 入	27,774	30,065	施設利用料・預金利子その他
計	4,038,317	3,847,000	

○支出の部 (単位：円)

項 目	決算額(R3)	予算額(R4)	説 明
総 務 費	1,467,063	1,628,000	報酬・会議費・消耗品費等
管 理 費	394,479	465,000	光熱水費・浄化槽管理費等
行 事 費	30,400	240,000	運動会・慰霊祭・出初式等
負 担 金 補 助	319,850	393,000	体育協会・文化財保存・PTA 等
区有林管理費	149,998	150,000	区有林固定資産税等
繰 出 金	560,000	480,000	地区社協・元気再生事業等
予 備 費	119,592	491,000	
計	3,041,382	3,847,000	

令和4年度行事予定

月 日	主 要 行 事	場 所
4 月	春のあいさつこだま運動	柏原区管内
4 月 1 6 日	柏原区役員総会（書面決議）	
5 月 2 2 日	小学校・校区合同運動会（中止）	柏原小学校
5 月 2 3 日	柏原区慰霊祭（中止）	柏原区公民館
5 月 3 0 日	町内一斉防災訓練・防災点検	柏原区管内
7 月	青少年ふるさと美化活動	各公民会
8 月 7 日	さつま町夏祭り（中止）	町内
8 月 2 1 日	鶴田龍舟祭（中止）	神子橋下流
9 月	秋のあいさつこだま運動	柏原区管内
9 月	敬老行事	各公民会
1 1 月 6 日	柏原区ふれあいウォーキング大会	柏原区管内
1 1 月 2 7 日	柏原区グランドゴルフ大会	柏原グラウンド
1 2 月 1 8 日	柏原区青少年育成餅つき大会	柏原区公民館
1 月	冬のあいさつこだま運動	柏原区管内
1 月 8 日	消防出初式・祝賀会	総合グラウンド外
3 月	柏原区農業を考える会	柏原区公民館

令和4年度 柏原区役員

役 職 名	氏 名	公 民 会	協 議 員 (任期R3～R4)	公民会	所属部会	公民会長	所属部会
区 顧 問	川 口 憲 男	上 川 口	王子野 建 男	上 川 口	総 務 部 長	豊 田 光 男	環境部
	橋之口 富 雄	諏 訪 下	片 岡 忠 浩	市 場	環 境 部 長	三 角 芳 文	福祉部
	古 田 昌 也	大 願 寺	軸 屋 信 幸	諏 訪 下	産 業 部 長	宮 内 孝 一	福祉部
区公民館長	堀之内 睦	小路下手	米 丸 満 男	小路下手	環境副部長	綾 園 研 一	産業部
区 会 計	宮之下 正 子	京 塚 原	下 市 則 幸	大 願 寺	総務副部長	上屋敷 守	総務部
区 監 事	九 日 美 行	京 塚 原	土 屋 洋 治	下京塚原	福祉副部長	木 場 俊 典	総務部
	鶴 菌 定	下京塚原	本 田 孝 市	京 塚 原	福 祉 部 長	木 場 崇	環境部
区有林管理人	吉 留 義 晃	市 場	鶴 森 茂	種 子 田	産業副部長	久留須 俊 彦	産業部
	栗 野 菊 男	大 願 寺					
	永 野 則 雄	種 子 田					
	上谷川 征 和	市 場					

☆皆様のご協力をよろしくお願いします。

【編 集 後 記】

この夏は、連日の酷暑に熱中症の発病等、体調を崩される方が例年になく多かったと聞きます。

こうした厳しい環境を歩む中で、ふと立ち止まり後ろを振り返った時、「人間万事塞翁が馬」という教えを思い起こすことです。

ご存じのとおり、中国北部に住む老人とその老人が飼育する馬にまつわる物語です。

とある日、老人が可愛がる馬が小屋から逃げてしまい、老人は悲しい日々を送っていました。数日後、数頭の馬を引き連れて帰ってきました。老人はその出来事に驚き、村の仲間と喜びを分かち合っていました。その矢先、その馬で息子が落馬し骨折してしまい、村の人々はその事故を悲しみました。

しかし、その息子は近々兵隊に召集される予定であったものが、この事故で戦争への出兵を免れ命がつかまりました。このように、人生は幸い不幸に、不幸が幸いにいつ転じるかわからない。故に一つ一つの出来事に安易に一喜一憂すべきではないということを説いているものです。

私達は今、地球温暖化が影響するといわれる厳しい暑さに加え、終息の目途がたたない「コロナ」という、目に見えない敵におびえ、行動が極端に制限される不自由な時代を送っておりますが、このことを憂うことなく、「塞翁が馬」に習い、前を見て静かに歩んでいかなければと思うことです。

令和4年柏原区広報誌発行にあたり、投稿・ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。